

翔びたて!!

以前、こちらで紹介しましたが、「10代、自分をもっと輝かせるプロジェクト」という飯山市協会の独自の事業が、日本たばこ産業(株)からの助成金を受けました。で、その交付式が6月23日にJT長野営業所で行われました。

岸田社協会長と担当職員がその式に出まして、左にありますとおり、見事、助成金(目録)を頂いてまいりました(左写真参照)。「高崎支店」と



小倉 高崎支店長から目録をいただく岸田 社協会長

あるのは、長野営業所が高崎支店の管轄内にあるからですね。

ちなみに、この助成金は、「青少年育成に関するNPO助成事業」というのが正式名称で、「高崎支店管内で助成対象となった『飯山市社会福祉協議会』は、全国から応募申請があった148件の中から、JTで申請内容の審査を行い、最終的には社外有識者を中心に構成される『NPO助成プログラム推進委員会』の審議を経て、決定」がスリリースより抜粋されたものです。

すこいのは、日本全国で148件の応募があつて、そのうち助成対象になったのが41件、長野県内では飯山市協会のたった1件だけだった、ということなんです。

～中高生のみんなへ～

10代、自分をもっと輝かせるプロジェクト

～今後の予定～

- ☆基本的に毎月第1・3土曜日に実施
(1時～3時 場所：飯山市福祉センター)
※勉強もOK!! (空調完備。図書館代わりに…)
- ☆ふれあい祭への参加
- ☆クリスマスイベント
(自分の夢と希望を実現しよう!!)
※バンドライブやダンスなど、やりたいコト何でもやろう!!

ます。毎月第1・3土曜日には、ポツポツとですが参加者も来てくれます。ちよつとずつですが着実に来てくれる中高生も増え始めていますよ。先日は、

「勉強をしに来た」という高校生が来まして、「ここが解らない」と聞かれたのですが、我々も高校時代を思い出しながら、なんとか対応しました。

で、「コレじゃいけない! 中高生に聞かれて答えられないなんてハズカシイ!!」ということでも、職員一同、日々、勉強(復習)に明け暮れています(もちろん業務終了後。任意にですが…)。

…と、思わぬ助っ人を忘れていました! 実は、海外在住経験があり、予備校で英語講師をしていた職員がいたので…

…というワケで、英語担当の職員も決まり(ただし、出勤状況による)、あとは勉強に来てくれて、質問をしてくれる中高生を待つばかりです。(と、さり気なくアピール☆)

「英語が解らない」、「5文型ってナニ?」という中高生諸君、是非ぜひ総合福祉センターにいらっしやいませ!!

声

虫とり名人のつぶやき

養老孟司先生が昨年来飯し、こんなことを話していききました。「僕の本業は虫とりかもしれない」あの時、「孟司先生、私もこの地では虫とりのプロです。どっちが上手か対戦してみたいですね。」と思ったのは私だけでなかったと思います。

講演の大切なところは、「大人も含め、もつと体を動かしてほしい。それが、脳の働きを考えること」であり、法律など変えなくても、子ども達は正常な発育が成される、ということでした。

いよいよ夏です!
お孫さんやお子さんにゲームなど買ってあげるなら、是非、虫とり網を買ってあげてください。
健全な、私達のような大人になつてもらふ為に!

(匿名希望)

養老先生の講演に行かれたのですね。私も子どもの頃は、虫とりの魚釣りに夢中でした。

(編集者)

「若い人の悩みを聴く人」研修会

7月31日(木)、飯山市総合福祉センターにおいて、「若い人の悩みを聴く人」研修会が開かれました。

この研修会は皆さんご存知の「総合相談」の若者向け版として、悩み多き世代の悩みを、その世代に近い、言わば「おにいさん、おねえさん」に聴いてもらおうと、その相談員を養成するという目的で当初は開始したのですが、「相談員」になるには相当の年月と経験が必要ではないかという懸念があり、最終的には「市内若者の自己の向上を図る」ことを目標に据えました。

今回募集をしましたところ、市内の20代から若い主婦まで8人の方々がご参加くださいました。

講師には、元・養護教諭のカウンセラ、弓削朱實先生と、元・市保健師のカウンセラ、武田民江先生を迎え、それぞれ「健やかに生きるには何を育ておくことが大切なのか?」、「ひとの心の声を聴

歌

- ・広々と夏草しげる草原に
飯山 丸山 昌
- ・梅雨晴れに枝影とほせしそよ風の
青草の香ただよう夏の夕暮れ
白き花そよぎゆれうごく見ゆ
- ・早朝に花火の音や夏まつり
飯山 石沢 タツエ
- ・雨あがり 出番待つてるかたつむり
- ・もくもくと入道雲がせまり来て
常盤 金井 幸子
- ・暑さきびしき夏の到来
夕焼けの西のお空にはぐれ鳥
赤くそまりてねぐらへいそぐ

く」と題してご講演いただきました。詳細については紙面の都合上ご紹介できませんが、「他人の心を癒すには、まず自分が満たされていないといけない」という主旨でした。



最初は教室型だった体型も、途中から円座になり、参加者の声も活発に…

参加者からは、「とても役に立った」「この研修を、子育てや日常にも役立てたい」「このような研修会をまた企画してほしい」という

編集後記

梅雨といつのに、やっと降ったと思ったらすぐ止んで…というハッキリしない天気が続いていました。畑の作物たちも、きつと雨乞いをしていたことでしょう。

今回、1・2ページ目に「飯山市総合福祉センター」の記事がありました。既述のとおり、新幹線の関係での移転になります。職員一同、ちょっぴり淋しい気持ちと、新しい施設へ移転するという「ワクワク感」と、みな、複雑な面持ちでおります。

また、右ページの「10代、自分をもっと輝かせる事業」ですが、主催者側としては、「飯山の子どもたちにもう一度自分と自分の住むまちを見つめ直し、そのことによつてもっと輝いて欲しい」という願いを込めた企画です。今年度限りの事業ではなく、ずっとずっと「飯山っ子」を応援していくつもりですので、どつぞよろしくお願ひします!

飯山の若者よ、翔びたて!!
(編集者 木鋪)